



響音

H i b i k i



令和3年9月17日

上小地区 小中学校 実り多き研修

～ICTをフル活用して開催～

9月8日(水)、上小地区の教育課程研究協議会が開催されました。

コロナレベル5の中でも2年ぶりの開催にこぎつけました。

オンラインの午前開催という、誰もが初めての形でしたので、事前のビデオ撮影から当日の運営まで、どのようになるか各学校は心配されたと思います。当日の様子をお伝えします。

授業の様子を発表



研究主任
授業者



ビデオやスライドを用いて、授業の様子を補足説明し、授業を創っていく上で大切にしたこと、そして実際の子どもたちの姿から考えたことなどが熱く語られました。

授業研究会(グループ討議)



係の先生



画面の中ではありましたが、付箋ツールなどを使って、子どもたちの姿をもとに、よかった点や自分だったらどうしたかと自らの授業を振り返る意見が出されました。

<当日の日程>

- 開会行事
- 授業研究会
 - ・指導案、研究の説明
 - ・授業のビデオ視聴、スライドで説明
 - ・グループ討議
 - ・全体討議
 - ・指導主事の指導
- 研究協議
 - ・県教委からの説明
 - ・実践上の諸問題
 - ・情報交換等
- 閉会行事
12:10閉会

<参加者の感想>

生徒と同じ方法でグループ討議を行うことで、生徒の感じたよさや困り感等を実感することができました。限られた時間の中、先生方の意見をすぐに見ることができたり、相違点を見つけたりすることができるので、距離が離れている中でも話し合うことができよかったです。先生方の意見をもっと聞いてみたいと思いました。

<授業者の感想>

授業や研究会が終わってみると大きな達成感を感じると同時に「もっとこうしたらよかったな」と後悔の念も生まれました。オンラインでの授業研究会の折にいただいた意見や感想、寄せられたアンケートの温かい先生方の感想や鋭いご指摘は大変励みになりました。また、ICTを駆使して新しいことに挑戦できたこともありがたかったです。

どの学校でも、様々なトラブル、アクシデントはあったものの、運営側、参加者、そして市町村教育委員会がそれぞれの場面で協力し合い、今まで長野県が大切にしてきた授業の実際から学び合う教育課程研究協議会となりました。

「コロナ禍でも学びを止めない」先生方の熱い思いがICTという手段を生かしての開催につながり、授業について共に考え、学び合うことができました。

この成果が日々の実践に生かされていくことを心から願っています。

